

改 革 10

大野 英雄 議員

1. 大網駅側の整備について

問 大網駅南地区への展開状況？
答 12月14日に駒込、池田、南玉の3地区の方々を対象とした意見交換会を実施し、構想図作成の主旨や背景等を説明し、住民の方々から貴重な意見を頂いた。今後も継続的に開催する。

問 協議会は検討しているか？

答 任意の組織となるので組織のスタイルや設置手続き等の明確な決まりはない。今後、協議会の設置の仕方について検討する。

問 大網駅前トイレの改修に予算が付いた事は評価するが、電光掲示板と一緒に検討できないか？
答 駅前にふさわしい、綺麗なトイレを整備する事を考えている。電光掲示板は、関係部署と協議したい。

2. ホームページの刷新について
問 ホームページに最も大切なものがないの心が入っていない
答 トップページは配置、構図に若干の相違があるとの考えを持っていて、企業誘致に向けたコンテンツ、

地域活性化を図る空き家バンクのコンテンツは有効な手段と考えている。今後、広くわかりやすく情報の提供ができるように関係課と連携し調査研究する。

3. 事業仕分けについて

問 どの基準で事業選択しているか
答 第5次総合計画の施策推進を優先し、事業を選択している。

問 国の施策などを、事務事業評価した上で事業査定をしている。
答 執行部が事業の選択をしており、議会は事業選択していない。民間による事業仕分け導入をどう考えるか

答 事業評価への意見公募、パブリックコメントを実施する計画である。事業仕分けは有効と思うが、事務事業評価を進めたい。

4. 無償移動ポランテアについて
問 高齢者が最も必要としている足の問題を解決するデマンド交通システム導入をどう考えるか？
答 ドアツードアのデマンド交通システム導入は貴重な提案と考えており、今後参考としたい。

5. 首長連合サミットについて
問 日本のトップの自治体に参加する首長連合サミットに職員が参加していないがどう考えるか？
市長 職員は公務員である前に、一人の住民であるため、先ず、地域住民として地域に溶け込み役割を果たしてもらいたい。

6. 事務方針について
問 市長は、各課の事業を読み上げるだけで、市長のアピールがない？
市長 各課と主要事務事業のヒアリングを行い、マネジメントした結果を予算編成内容と合わせて自分の方針として報告している。

問 リーダーは未来に挑戦する事だが
市長 職員には自分に出来ない事に挑戦して下さいと訓示している。

副市長 職員には、常に創意工夫を持って取り組んでもらうよう指導している。



大網駅前トイレ掃除

医療の充実と
防災の強化をめざして

秋葉 好美 議員

問 予防医療について

肺炎球菌ワクチンの予防接種について伺います。

答 現在のところ、高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、任意接種でございます。本市におきましては、平成24年度から高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成制度を設けて、75歳以上の方を対象に、接種費用の一部助成をしております。

問 肺炎に罹患し重症化するリスクが高い高齢者について(80歳・85歳・90歳)の接種が遅れることはないですか。
答 定期接種となった場合には、高齢層の方で対象から外れてしまう方に、現在実施している75歳以上の方を対象の肺炎球菌ワクチン接種費用助成制度を利用できるようにするなど、高齢者の肺炎予防につながるよう、検討してまいります。

問 地域医療について
東千葉メディカルセンターについて、救急医療の役割について伺います。
答 本市においては、夜間や休日に病気になる場合は、夜間救急診療所は山武郡市医師会に、また休日救急歯科診療所は山武郡市歯科医師会に、山武郡市広域行政組合が業務を委託し、山武郡市医療福祉センターで診療を受けられる体制を整備しています。手術、入院などを要する重症の場合は、山武郡内の6つの病院が輪番制で、2次救急病院として待機しております。そして、より高度の特殊な治療が必要な、重篤患者の救命医療を24時間体制で対応するのが3次救急で、この4月開院する東千葉メディカルセンターに併設されます救命救急センターも、この役割を担って頂けることになっております。

問 防災について
九十九里沿岸地域の表示の統一化について伺います。
答 現在、市内には海拔表示板を、二〇〇カ所。案内看板として三〇〇カ所。避難所案内看板を、6カ所設置しております。本市では、海拔表示看板及び津波避難ビル看板については、ISO、国際標準化機構規格による、国際標準化機構が決定した津波に関する統一標識、いわゆる図や記号を用いて表示しております。津波避難所案内看板及び避難所案内標識は、JIS、日本工業規格による標準案内用図・記号で表示しております。今後、山武郡内の防災担当者会議においても、統一標識の重要性について、共通認識を図ってまいりたいと考えております。

問 消防団員の処遇改善について伺います。
答 消防団員は、火災その他の災害において献身的な働きをしております。その労苦に報いる為、団員報酬や出勤手当等処遇を講じております。昨年12月に公布された、「消防団を中核とした地域防災力強化に関する法律」では国及び地方公共団体は必要な処置を講ずるとしています。市としても、今後、報酬の見直し等検討してまいります。



地域の安全を守る消防団員

図書館サービスの向上で、
市民の知的活動の支援を！

黒須 俊隆 議員

問 図書館の現在の低い利用状況をどのように考えているか。市民一人あたりの年間平均貸出数は、本市が約4冊、浦安市が14冊、10年間だと本市は40冊、浦安市だと140冊。そういう差に広がっていく。この現状は大変憂うべき知的教育の危機ではないか。

答 図書館の役割は、知的教育の観点からも重要であると考えています。図書室機能の整備・充実を図るなど、利便性の向上に努めていきたい。

問 本市の新聞購読は、千葉日報が9部、読売が3部、朝日、毎日、産経、日経が2部、東京新聞はゼロ。大綱図書室には、主要新聞は全て置くのが、中央図書館としての役割ではないか。

答 限られた予算の中で、全ての新聞を用意することは困難であると考えています。どのくらいの方が東京新聞等を望んでいるのか、現在実施している新聞購読に関するアンケート結果をもとに、購入する新聞について、決定していきたいと考えています。

問 少なくとも首都圏の主要紙は全て置いてほしいのではないか。産経新聞を2部も置いて、東京新聞は置かない。千葉日報は9部もある。偏っていないのか。中央図書館としての役割を果たしてもらいたい。
答 大型本の個人への貸し出しは、なぜできないのか。高価であり、傷みを考慮すると、貸し出しは困難ということだが、本末転倒だ。正しく使われて傷むのなら、本望ではないのか。読み聞かせに限定しても、個人への貸し出しは困難なのか。

答 読み聞かせに限定しての貸し出しについては、今後、検討していきます。

問 貸し出しのインターネット予約確定を、なぜ当日できないのか。図書館の空間の狭さをカバーするため

に、インターネットを活用した取り組みがいろいろと考えられるが、予約確定すらできないというのはどんな理由か。
答 課題等も検証した上で、検討していきます。

問 1回の貸出冊数を6冊より増やすことは、なぜできないのか。東金市、茂原市は10冊、山武市は無制限。近隣図書館と比べて基本的なサービスが遅れているのに、どうやって空間の狭さをカバーしてサービスの向上を図るのか全く疑問だ。
答 現在の6冊から、予約が可能である10冊にすることを検討しています。図書室協議会におきまして、意見を伺った上で、実施について検討してまいります。

問 閉館時間が午後5時というのは早すぎはないか。
答 近隣図書館などを参考に、閉室時刻を延長する方法について、検討していきたく考えています。

問 中央図書館機能を持つ大綱図書室に関しては、夏冬関係なく、せめて6時まで開館するとか、または近隣図書館にあるように7時までにするとか、そういう必要があると考える。
冒頭言ったとおり大綱白里市では市民一人あたり年4冊、浦安市では14冊、スウェーデンやデンマークでは19冊。これは国民一人あたりの平均です。当然、知力が変わってくる。ぜひ図書館の話は、現状からではなく、こうしたいという目標を持ち、実現に向けて邁進していただきたい。



図書室のサービス向上を